

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3078	(H.24)No.	3078
-----------	------	-----------	------

事務事業名		青少年健全育成事業補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	2	青少年健全育成
	小施策	2	健全な環境づくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	508505
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	青少年健全育成事業	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	青少年対策費	青少年健全育成事業補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
青少年育成市民会議を中心に、市民会議を構成する諸団体と連携して事業を推進するために、事業補助を行う。	

めざす効果(事業目的)
市民との協働により効果的な青少年健全育成活動を実施することができる。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	青少年育成市民会議の青少年健全育成事業に対し、事業補助金を支出 中学生のメッセージ31千円、有害環境一掃大作戦10千円、なんでも体験団108千円、夜間合同パトロール10千円、ジュニアリーダー要請講座千円、サポートふれあい隊24千円、事務費22千円 総事業費合計206千円	青少年育成市民会議の青少年健全育成事業に対し、事業補助金を支出 中学生のメッセージ、有害環境一掃大作戦、なんでも体験団、夜間合同パトロール、ジュニアリーダー要請講座、サポートふれあい隊 総事業費228千円	補助金・交付金		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	206千円	228千円	228千円	228千円	228千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 206	228	228	228	228
人工数	職員				
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 206千円	228千円	228千円	228千円	228千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	50
	実績		47	55	57	57	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
青少年育成市民会議の青少年健全育成事業として、なんでも体験団等の体験教室や、少年サポートふれあい隊等のパトロール活動が行われています。	今までの活動を維持し、市民との協働により効果的な青少年健全育成活動を実施します。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
少子化や、情報化の進展などにより、青少年をとりまく環境が著しく変化し、子どもの居場所づくりや、体験学習機会の充実が求められています。また、少年が関係した凶悪事件など、青少年をめぐる問題は、より深刻になり、地域ぐるみで、子どもたちを守る体制が必要となっています。	地域づくり組織への情報提供を適切に行うこと

8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	地域における、防犯パトロール等との連携を図る
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	地域や学校との連携事業が考えられます。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	国・県の補助事業を確保する事により、市補助金の見直しを図る。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項

--